

ふれあいメッセージ

6



千代田町青少年育成推進員連絡協議会

平成26年度 千代田町青少年育成推進員

第1区	高橋勝美	
第2区	植木富美子	
第3区	坂本貢	
第3区	町田和己	
第3区	大橋成光	
第4区	川島安夫	
第5区	近藤千秋	(会長)
第6区	鈴木稔	
第7区	江原豊	
第8区	松澤修	(副会長)
第9区	小林一栄	
第10区	大塚覚	
第11区	島村孝良	
第11区	杉田和弘	(副会長)
第12区	本戸昭三郎	(副会長)
第13区	君島秀男	
第14区	田村裕昭	
第15区	荒井和男	
第16区	須藤健二	
第17区	渡辺靖	

はじめに

先日の新聞で、昨年の青少年による非行件数が過去十年間でもっとも少なかったことが報道されていました。少子化が一番の要因であると思いますが、それに加え、社会全体での防犯対策が進んだことが背景にあるとも考えられています。一方、過ちを繰り返す『再非行者率』は増加傾向にあります。初犯年齢中卒後の十六歳は多感な年頃であり、特に友達との関係を壊したくがないために、仲間と再び犯罪に手を染めてしまうのでしょうか。（平成二十七年二月六日上毛新聞より抜粋）

千代田町でも地域福祉計画が策定されます。家庭・学校・地域が一緒になって、青少年が安心できる社会での居場所づくりが大切になってくると思います。今回は初めて学校の先生方からもメッセージをいただくことができました。

毎日優しく子ども達を見守っていて、又、無限の可能性を信じている思いが強く伝わってきます。子ども達も先生方を信頼しているのでしょうかね。

もっともっと多くの、色々な立場の方々からの心の声を、より多くの人々に届けたいと思います。皆様の寄稿を心よりお待ちしております。

平成二十七年三月

千代田町青少年育成推進員連絡協議会

会長 近藤 千秋

子どもの部

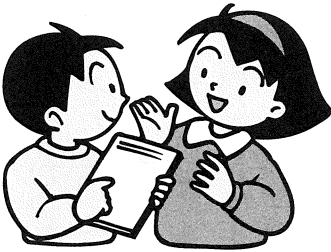
あいさつをすればすぐ気持ちいい笑顔をいっぱいになれば

笑顔が世界に広がる。(小学五年)

『おはよう』その一言を言ってくれよう

今日も一日がんばろうと思おう、うてもうれいです。

(小学五年)



「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」「あじわいをするよ、

気持ちがおだやかになります。」（小学六年）

おはよう。この言葉は、楽しい一日をむかえられる

とっておきの一言です。（小学六年）

きずついた時「大丈夫？」

その言葉ひとつで勇気づけられます。（中学一年）



あいさつをいつも返してくれて、

気持ちよく一日がむかえられます。

(中学一年)

「だいじょうぶ?」その助けの言葉で心がやさしくなって

みんなを助けられるすてきな言葉。

(中学一年)

「おはよう」と言われたけれど、無視してしまった。

今度は自分から言ってみようかな。

(中学二年)



「おかえりなさい」の一言で、心が瞬時にあたたまり、

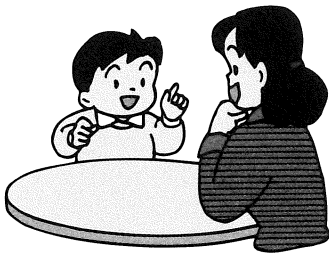
愛されている気がする。(中学二年)

母さんが産んでくれて、

今生きていることがとてもうれしいです。(小学五年)

心からの言葉でみんながえがおになれて、

毎日うれしい気持ちです。(小学五年)



ありがとう

その言葉を言われると心があたたかくなる
(小学六年)

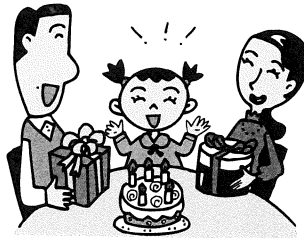
家族に今一番言いたい言葉

それは「ありがとう」
(小学六年)

なにかしてあげた時

「ありがとう」といわれると心があたたまる。

(小学六年)



「ありがとう。」

この心あたたまる言葉をもっと言いたい。
(中学一年)

ちゃんと「ありがとう」「ごめんなさい」を言ってみよう。

心があたたかくなるから。
(中学一年)

「ありがとう。」「ごめんね。」

簡単だけど、心をつなぐ大事な言葉。
(中学一年)



なんとなく言いたくなった。気まぐれでごめんねでも、

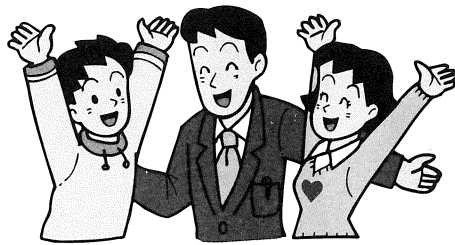
「ありがとう。」（中学二年）

知っているよ、いつも優しいんだよ。

素直じゃなくてごめんね。（中学二年）

いつも一緒にいてくれてありがとう。辛いときも楽しいときも

いつもいつもありがとう！（中学二年）



いつもわがまま言うてごめんね。大切に育ててくれてありがとう。

これからもよろしくね。 (中学二年)

あまり言った事はないけれど、いつも心の中で思っているよ、

「ありがとう。」って。 (中学二年)

私はたくさんの人に支えられている。

そんな私を支えてくれるみんなに心からありがとう。

(中学二年)



相談に乗ってくれる友達、家族、いつも本当にありがとう。

感謝の気持ちでいっぱいです。 (中学二年)

誰かがそばにいること。それだけで生きていくための力になるよね。

いつもありがとう。 (中学二年)

ありがとうなんてめったに言えやしないけど、

私はたくさんのありがとうを持っています。 (中学二年)

心が落ち込んだ時話を聴いてくれた一緒に悩んでくれた、仲間よ。

ありがとう。 (中学二年)

「いつもありがとう」

いつも言いたいけど言えない言葉。 (中学二年)



どんなに仲が良い人でも、「ありがとう」「ごめんなさい」は

言わなきゃいけない言葉。 (中学三年)

自分の周りに家族がいること、友達がいることは、

当たり前だと思っても、幸せなこと。（中学一年）

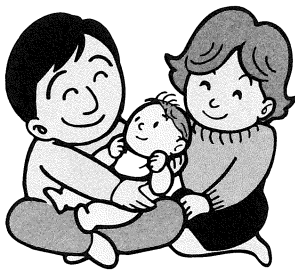
初めて、私がお姉ちゃんになったときの喜び、家族が多くなった時

の喜びに、涙が出たこと。（中学二年）

母がいろんな事を心配してくれる。

そのありがたみを今、心から感謝しています。

（中学二年）



家族、学校みんな、自分と関わり合うすべての人と

支え合っていていくっている。
(中学三年)

家族は大切なものです、自分にとっても宝物と思い、

家族に感謝したいです。
(中学三年)

私には、大切な家族がいる。そして大事な仲間がいる。

それだけで、幸せなことだ。
(中学三年)



家族を大切にし、友達を大切にし、そしてなによりも

自分を大切にし、人生を楽しもう。(中学三年)

家族がいるから生きていける。

家に帰れば明るい笑顔。(中学三年)

みんな仲良し。友達と協力しているから、

学校に行くのが楽しくなるよ。(中学一年)



学校は、友達、先輩、後輩、先生と協力し

助け合うというのを学ぶための所。 (中学二年)

クラスの仲間がいるから毎日の学校生活が楽しい。

いつもありがとう。 (中学二年)

学校で、一人の私に、声をかけてくれて、ありがとう。

今では、みんなの「わ」の中に。 (中学二年)



ちいきの人にあいさつをするとえがおであいさつがかえってきて、
とてもうれしくなる。 (小学五年)

わたしたちができること 千代田のみんなに
明るい笑顔を贈ること (小学六年)

私があいさつをすると笑顔で返してくれる町民の皆さん。

その笑顔に支えられています。 (中学二年)



仲間を助けるといふこと、仲間を信じるといふこと。

それが、仲間とのつきあいだと思う。（小学五年）

友達大切なもの。世界に何億人といふ中で出会った

一人の人だから。ありがとう。（小学六年）

強い心

いじめている子をたすけよう（小学六年）



仲間と協力する。一番大切なこと。

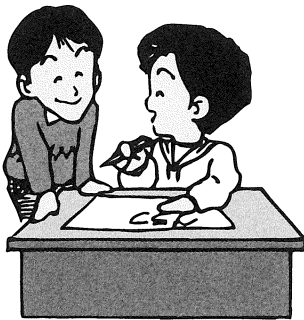
仲間を信じてこれからもがんばっていききたい。
(中学一年)

一緒に歩いてくれる人が、笑ってくれる人がいる。

それだけで、私はいつも幸せです。
(中学一年)

仲間と競い合うこと、仲間と協力すること、

これが、友達 (中学一年)



仲間がいれば、一人じゃできないことができる

最高の宝物。(中学一年)

仲間と一緒にいてくれるから、どんなときでも、

安心して笑顔でいることができます。(中学一年)

仲間とは互いを信じ合い

助け合える人のことだと思います。(中学二年)



どんないやな事があっても、友達が聞いてくれる。

だから明日もがんばれる (中学二年)

仲間がいるからつらいことも頑張れる。

だから、仲間はとても大切な存在だ。 (中学二年)



「ありがとう」辛い時励まし合える仲間達、

どんな壁もこの仲間となら越えられる。 (中学二年)

仲間と共に生きる共に成長する

共に助け合うそれが本当の親友 (中学二年)

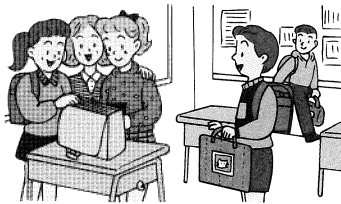
寂しい、悲しいと思った時。そばに居てほしいあなたに気づいた。

ずっと隣にいてね。 (中学二年)

仲間がいてほんとうに幸せだと思う。

一人ではできない事も皆とならできる。ありがとう。

(中学三年)



泣きたい時、そばに大切な人が居てくれるだけで心が落ちつく。

仲間ってそういうもの。(中学二年)

失敗は成功の素。友達を信じて最後まで諦めず頑張ろう。

その行動は無駄じゃないから。(中学二年)

言葉で、気持ちでつながれる。

一生の宝の友達に、出会えたことにありがとう。(中学二年)



仲間を信じ、仲間を助ける。

それが強い絆を産む。
(中学二年)

こうして出会えたのもキセキ。だからこれからも仲良くして、

最高の仲間でいようね。
(中学二年)

失敗は成功のもと。それを何度も繰り返して行くことで、

自分はきたえられる。
(中学二年)



当たり前のことが幸せ。

当たり前を大切にしよう。

(中学二年)

「がんばれ」 苦しいときに言ってもらえると

また一歩踏み出せる。

(中学三年)

失敗は成功のもと。だから何度失敗してもいつかは成功につながる。

夢は絶対あきらめない。

(中学三年)



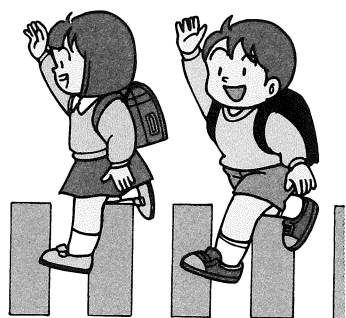
大人の部

親がいて友達がいる。決して一人じゃない。

すてきな世界。

老若男女、お互い様で育む命。

素敵なあいさつ、ありがとう。



仕事場で、子ども達の頑張っている姿を思い浮かべるよ。

まだまだ、頑張れる自分がいるよ。

子どもの下校時、一人で下校する子の姿を見かけ少子化を実感。

安全安心な町を切実に願う。

毎日生活していく中で、子どもの大人びていく姿。

いつか恩返ししてくれる日は来るのかな。



群馬県一輝く笑顔がにあって千代田っ子。

どんな時も素敵な仲間と一緒に切磋琢磨。

「おはようございます。」「こんちは」……

あいさつは心に残る贈りもの。

君たちは、私達の誇りです。

君たちの足跡を引き継いで千代田中の今があります。



「信じる」強さを持ちましょう。

友達を信じ、人を信じ、自分を信じていきましょう。

やらずに後悔するならやって後悔。

その一歩、勇気を出して踏み出そう。仲間がついてくる。



愛する一組のみんなへ。日々成長していく皆をみていることが、
担任として幸せです。

悔しい思いを重ねた分、強くなる。

だから、Never Give Up!!

時間を大切に！やることは無限だから

いくら時間があると思ってもたりない。

落ち込んでいる時でも生徒の笑顔と

大きな挨拶で元気になります。



元氣にお仕事できるのも、みんなのおかげ。

いつも怒ってごめんね。ありがとう。

久しぶりに会った孫いつしか伸びていた背、

次にあう事を楽しみにしている私。

常に回りの人に対して、感謝、謙虚の心を持って、

素直に生きていくのが大事です。



親は子どもに叱咤激励する事も必要だけど、

その後は深い愛情で抱きしめてあげて欲しい。

日曜日に夫婦二人で芋を掘る。東京で暮らす子どもたちのために。

過ぎ去りし日々は懐かしく。



子どもは親の言つ事を聞かぬ。子どもは親の真似をする。

だから親は子どもの鏡と言われる。

無口なうさぎが死んだ。存在自体が声だったことに初めて気がつく。

声を出してありがとう。

孫が来ると、昔のようににぎやかな家になります。

子育てしていたころが懐かしいな。

お父さん、仕事が忙しく、顔をあわせることや、
会話が減って反省しています。ただ一言、オハヨウ。

ありのままを受け入れ、

成熟に向かって明るく前を向き邁進して行こう。



どの道にもそれぞれ苦労がある。

どれだけ歩いたか迷わず気にせずとにかく進め。





発行日 平成27年3月

発 行 千代田町青少年育成推進員連絡協議会

〒370-0503

群馬県邑楽郡千代田町大字赤岩1701-1

千代田町民プラザ内

TEL:0276-86-6311 FAX:0276-86-6336